

新院長ご挨拶

高度な脳疾患医療を

絶えず進化させ続ける

病院長 南 浩昭

令和7年4月、吉田泰久 前院長の後任として南浩昭 新院長が就任しました。吉田病院は、脳神経外科学会専門医をはじめとする充実したスタッフの体制で、一次脳卒中センター(PSC)コア施設に認定されています。他職種のスタッフとのチームワークを大切にして人材育成に力を入れ、脳神経血管領域の高度な治療を提供する方針です。

組織の全体を見渡し、 責任ある医療運営へ

私は平成3年に神戸大学医学部を卒業後、脳神経外科に入局しました。旧姫路循環器病センター、旧成人病センター、兵庫県立こども病院などで研修を積んだ後、旧六甲アイランド病院、伊丹恒生脳神経外科病院で臨床経験を重ねました。その後、旧兵庫県立淡路病院に院長として約9年間勤務し、吉田泰久理事長とのご縁で吉田病院に入職いたしました。脳神経外科の二本柱とされる「直達手術」と「血管内治療」の両分野で研鑽を積み、現在は脳神経外科学会・日本脳神経血管内治療学会の専門医および指導医として、後進の育成にも力を入れています。

充実したスタッフ体制による 質の高いチーム医療

吉田病院の最大の強みは、専門性の高いスタッフが揃った充実のチーム体制にあります。現在、脳神経外科学会専門医が10名在籍しており、複雑で難易度の高い症例にも複数の医師が連携して対応できる体制を整えています。脳神経外科医の交代が可能なシフト体制も確立しており、働き方の柔軟性が保たれていることも、安定した医療提供の土台となっています。さらに、脳神経内科や循環器内科の常勤医師も加わっており、外科的アプローチだけでなく、内科的な視点からの診断・治療支援も受けられる、総合的な診療体制を構築しています。

当院は、日本脳卒中学会より「一次脳卒中センター(ACC: Primary Stroke Center)」の認定を受けており、365日24時間体制で、地域の医療機関や救急隊からの要請に応じて脳卒中患者を受け入れています。急性期診療担当医が静注血栓溶解療法(リテック)を迅速に開始できる体制が整っており、さらに、地域の急性期脳卒中医療の中心的な役割を果たす「一次脳卒中センターコア施設」にも認定されています。

進化し続ける脳血管内治療と、 先端技術への挑戦

これらの体制が可能なのは、多くの専門スタッフが在籍し、高度な連携が取れているからにほかなりません。

また、当院では急性期病棟においても、発症直後から積極的リハビリテーションを開始しています。脳神経外科領域の疾患は後遺症が残るリスクが高いため、できるだけ早い段階でのリハビリが重要です。当院には院内に回復期病棟が併設されており、急変時には即座に治療へ移行できるという安心感があります。近年、リハビリの重要性が高まるなかで回復期病棟の需要が増し、対応のためベッド数も増床しました。急性期から回復期まで一貫した医療体制を整え、患者さんのより良い社会復帰をサポートしています。

厚生労働省の統計によると、令和の年の死因第4位は脳血管疾患でした。多くの方が脳の病気に悩まされており、脳卒中をはじめとした脳血管障害は、今なお地域医療において非常に重要な課題です。吉田病院では、こうしたニーズに応えるべく、脳血管分野における高度な医療を通じて地域社会に貢献したいと考えています。

脳神経外科の手術は大きく「直達手術」と「脳血管内手術」に分かれます。直達手術は長年の技術革新によってすでに成熟した分野といえますが、一方の脳血管内手術は、動脈瘤や脳梗塞に対する新たな治療法が次々に開発され、日々進歩を続けています。例えば、太い血管が詰まって起こる脳卒中に対しては、tPAという薬剤による血栓溶解療法や、カテーテルを用いた血栓回収療法などが行われています。

なかでも動脈瘤に対する治療は近年大きく進化しています。

従来のコイル塞栓術に加え、金属メッシュ状のデバイスを用いたWEB（Woven EndoBridge）治療や、ステントを使って血流をコントロールするフロアダイバーター治療などが登場し、従来は難易度の高かった症例にも対応しやすくなってきました。これにより、治療の選択肢が広がるとともに、より多くの患者さんに適切な医療を提供できるようになっています。

当院には脳神経外科学会の指導医が複数在籍しており、その体制を活かして迅速かつ確実に新技術に対応しています。これからも、常に新しい医療を取り入れながら、さらに質の高い脳神経医療の提供に努めてまいります。

インタビュー全文をWEBページにて公開しています。

<https://www.yoshida-hp.or.jp/column/interview/index15.html>

TOPICS

- ・組織の全体を見渡し、責任ある医療運営へ
- ・脳神経外科一筋の歩みと専門性の深化
- ・充実したスタッフ体制による質の高いチーム医療
- ・高度な医療と人材育成を両輪に、次のステージへ
- ・進化し続ける脳血管内治療と、先端技術への挑戦
- ・脊髄・脊椎疾患から慢性脳疾患まで全般的に任せられる病院へ
- ・地域とともに歩む、開かれた専門病院として



メルマガ登録はこちら

吉田病院メルマガジン <https://www.yoshida-hp.or.jp/tiiki/newsletter.html>

日々の診療にお役立て頂ける脳疾患に関する専門的な情報や当院の取り組みにをメルマガにて配信しています。

※配信停止などはいつでも行って頂けます。



社会医療法人榮昌会
吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6
TEL:078-576-2773 FAX:078-577-2792
<http://www.yoshida-hp.or.jp/>

患者さんのご紹介や当院へのご意見などは地域医療連携室にお気軽にご連絡ください。

TEL:078-576-1520 (平日 9:00~16:30 土曜 9:00~12:00 ※祝祭日は除く)